

元最高裁長官 「違憲」と批判

中谷元・防衛相は参院

安保法制特別委員会(4

日)で、山口繁・元最高

裁長官が「朝日」3日付

など各紙で「集団的自衛

権行使は違憲」と批判

し、砂川事件最高裁判決

(1969年)を根拠に

して戦争法案を「合憲」

とする政府の議論につい

ても「ナンセンス」と否

定的な見方を示している

ことについて、「現役を

引退した一人の発言に

政府の立場でコメントし

ない」と述べました。発

言の重大な意味を必死に

なって打ち消そうとする

ものです。

民主党の小西洋之議員

が中谷氏にたたきまし

た。小西氏は、山口氏が

(集団的自衛権の行使を

禁じた)従来の政府解釈

について、単なる解釈で

はなく「規範」と昇格し

ている」とし、集団的自衛

権を行使したいなら憲法

9条を改正するのが筋と

述べているとして、政府

の見解をたたきました。

山口氏の発言に対し

て、菅義偉官房長官、自

民党の谷垣禎一幹事長

も、中谷氏と同様の否定

的な見方を繰り返しして

います。

安倍政権で自民党内、

圧倒的多数の憲法学者や

元内閣法制局長官から戦

争法案が「違憲」と宣告

されるなか、「憲法の番

人は最高裁であり、憲法

学者ではない」として学

者の発言を無視。最高

裁の権威を振りかざす姿

勢を示してきました。

元最高裁判事からの

「違憲」発言に続き、山

口氏の発言によって、い

よいよ元最高裁長官から

批判が噴き出したことに

なります。これを中谷氏

は「一人にすぎない」

と、無視する態度です。

9割を超す憲法学者、

元内閣法制局長官、元最

高裁長官と判事、日弁連

。まさに法曹界全体、

法律の専門家全てから

「違憲」と批判されなが

ら、これを受け止めず無

視する態度の根底にある

のは、憲法そのものを無

視する立憲主義否定の野

蠻な体質です。

防衛相「一私人の発言」必死に無視

法的見識が欠如

憲法研究者

小沢隆一さん

裁判官は自分が担当する裁判についてしか、法についての確定的な発言をすることが許されません。最高裁長官であつても同じで、現職中に裁判を離れて法解釈についての

自説をのべることはありえないのです。

他方、裁判官を長年務めた

人は、公職を退いても「法律

家」であることには変わりな

く、今回の山口氏の発言

は、「最高裁長官を務めた法

律家」の発言としての重みを

持っています。「一私人の発

言」として切っ捨てることが

は、自らの法的見識の欠如を

暴露するものです。

9/6
五三